

ひとつひとと通信

2020年12月20日発行

213号

「ひとつひとと通信」は
「ひとつひとつ」。
いつも読んでもらいたい
ありがとうございます。

ごくごく普通の平川の分身がお客様のところへご挨拶に伺う。どういった気持ちでお届けしています。当然ですのが無料です。

こんにちは！平川です。毎年この時期になると街中の赤や緑のイルミネーションにワクワクします。では今月もはりきっていきましょう！

見返りを求めなし

私は倫理法人会という経営者の団体に所属しています。先日、大分県豊後高田市準倫理法人会のモニタリングセミナーをさせて頂きました。そして朝食会後の朝8時頃、役員さんへ「あいさつ運動」へ出かけられたのです。築くため、大人が率先して出会った人に声をかける運動のことです。当日はとても寒い朝で、小雪が舞っていました。そんな中に立ち、地元の中学生へ「おはようございます」と挨拶をなに行かれました。毎週、モニタリングセミナーの後には実施されているとのことです。また近くの宇佐市倫理法人会では、この活動を12年も続けてあるそうで、大分県からも表彰を受けたらしいです。

ごくごく普通の平川の分身がお客様のところへご挨拶に伺う。どういった気持ちでお届けしています。当然ですのが無料です。



ることではありません。感動しました。さて話変わって、私は学生の頃、特別勉強が出来たわけでもないし、スポーツが得意だったわけでもありません。友達は、勉強、ギター、サッカーと何かしら得意なことを持っていました。しかし私は、「いったい何が出来るんだ？」何もないやん」と思っていました。そしてやりたいことも見つからず、大して興味もない専門学校へ進みました。何の取り柄もない学生でした。ところがです。社会人になぞポンと出てきたのです。「もしかして、これは人生初めて味わう優越感でした。それは何かと言つて、「継続すること」でした。私はカラオケ機器の営業マンでした。だが、それに気づいたのは、飛び込み営業の時です。自分にノルマを課して、いたわざでもないのに、苦痛なく継続出来たのです。なぜなら毎日同じルーティンを実行する事が出来ない不安から、あくまでも表彰を受けたらしいです。



お店を決めると、お気に入りの数店からローテーションして決めます。ゼンフマラニート（ゼンフマラニート）すると最初の数ヶ月は飛び込みで、まったく売れません。したが、下手な鉄砲も数撃ちやんにワクワクします。では今月もはりきっていきましょう！

ことではあります。感動しました。さて話変わって、私は学生の頃、特別勉強が出来たわけでもないし、スポーツが得意だったわけでもありません。友達は、勉強、ギター、サッカーと何かしら得意なことを持っていました。しかし私は、「いったい何が出来るんだ？」何もないやん」と思っていました。そしてやりたいことも見つからず、大して興味もない専門学校へ進みました。何の取り柄もない学生でした。ところがです。社会人になぞポンと出てきたのです。「もしかして、これは人生初めて味わう優越感でした。それは何かと言つて、「継続すること」でした。私はカラオケ機器の営業マンでした。だが、それに気づいたのは、飛び込み営業の時です。自分にノルマを課して、いたわざでもないのに、苦痛なく継続出来たのです。なぜなら毎日同じルーティンを実行する事が出来ない不安から、あくまでも表彰を受けたらしいです。

さて現在、私が継続していることと言えば、このニュースレターが10年以上、それと毎日両親へハガキを書いて、今日で800日目になります。「なぜ継続が出来るのか？」と時々聞かれますが、その「ツ」を「言」で「う」としたら、「見返りを求める」とことになります。なぜ「見返りを求める」とことになりますか。ギブアンドギブです。継かないのは、心のどこかでテイクを求めるから。スポーツの上達も語学の習得もさう、最初は、成果が出なくて当たり前の前なのです。ところが、やった分の見返りを求める、何も変化が起こらない不安から、あくまでも長続き出来ないのです。求められなければ、何でも心から喜んで出来ます。ですから昌頭のあいさつ運動のように、継続している人を見ると、同志のようと思え、感動します。10年偉大なり、20年恐ろべし、30年歴史になる、50年神の如し。と中國の格言にござります。日々のコツコツとした小さな積み重ねが、大きくなり、妻にこれを読んでもらった。先ほど、妻にこれを読んでもらった。もうっと樂観的に生きないと、早く死にするよ」と言われました。(笑)今日は自慢っぽい話になつて、申し訳ございません。

今年も残すところ、あとわずかになりました。歳を重ねるごとに一年が早く感じるのは、50歳の人にとってこの一年は50分の1。20歳の人にとってこの一年は20分の1だからです。どうならないためには、いくつになつても新しいことに挑戦することだと書いてこの一年は20分の1だからです。

今年も残すところ、あとわずかになりました。歳を重ねるごとに一年が早く感じるのは、50歳の人にとってこの一年は50分の1。20歳の人にとってこの一年は20分の1だからです。どうならないためには、いくつになつても新しいことに挑戦することだと書いてこの一年は20分の1だからです。

一年間、どうもありがとうございました！

良いお年を
お迎え下さい

発行／有限会社アサム

〒819-1127 福岡県糸島市有田中央 2-14-36

Tel: 092-321-4001 Fax: 092-321-4002

・専門学校&スクールサーチ : <http://www.asamnet.jp/>

・ブログ : <https://itorinri.com/>

ご感想や楽しいメッセージをお待ちしております。メール: hirakawa@asam.jp FAX: 092-321-4002